

# QScan V3.8.1 リリースノート

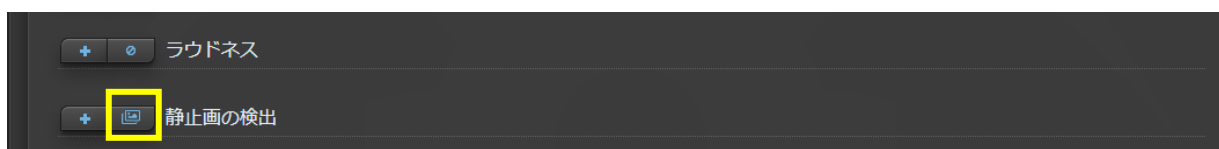
2020年 9月

---

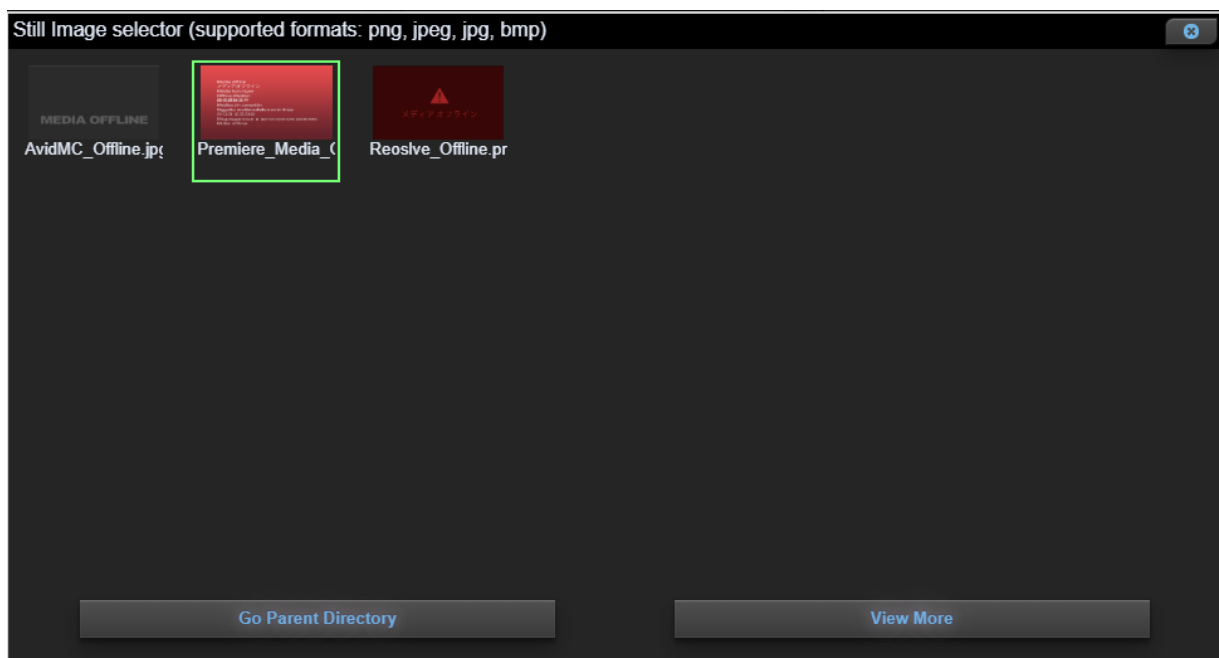
## 静止画像の検出

ユーザーが選択した画像のライブラリから静止画像を検出できます。これは、「メディアオフライン」や静止画像のスレートの検出に特に役立ちます。プロジェクトで静止画像検出を設定するには、以下の手順を行います。

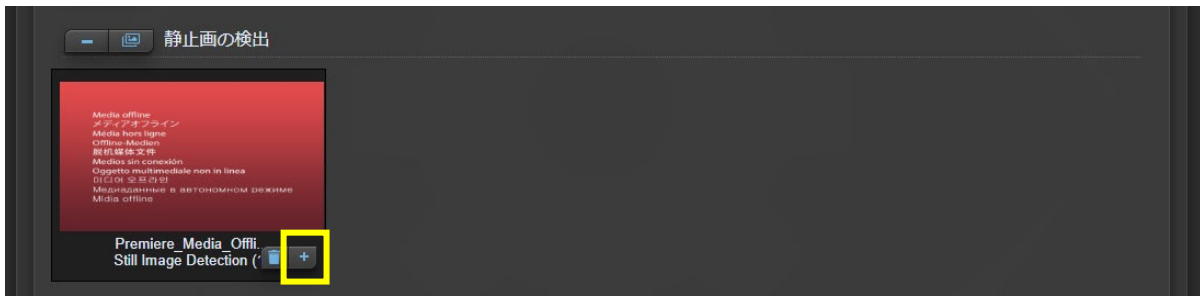
「静止画像の検出」の右のボタンをクリックし、ライブラリを表示します。



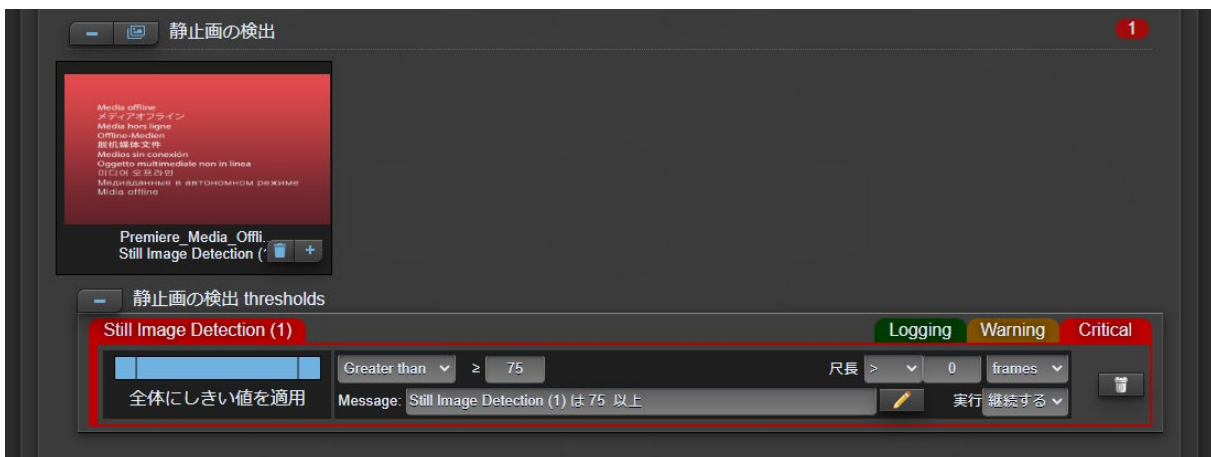
検出させたい静止画像をクリックして選択します。



サムネイル上の「+」ボタンをクリックすると、静止画像に対する閾値の設定が表示されます。



閾値を設定します。



静止画像が検出されると、分析レポートにイベントが表示されます。

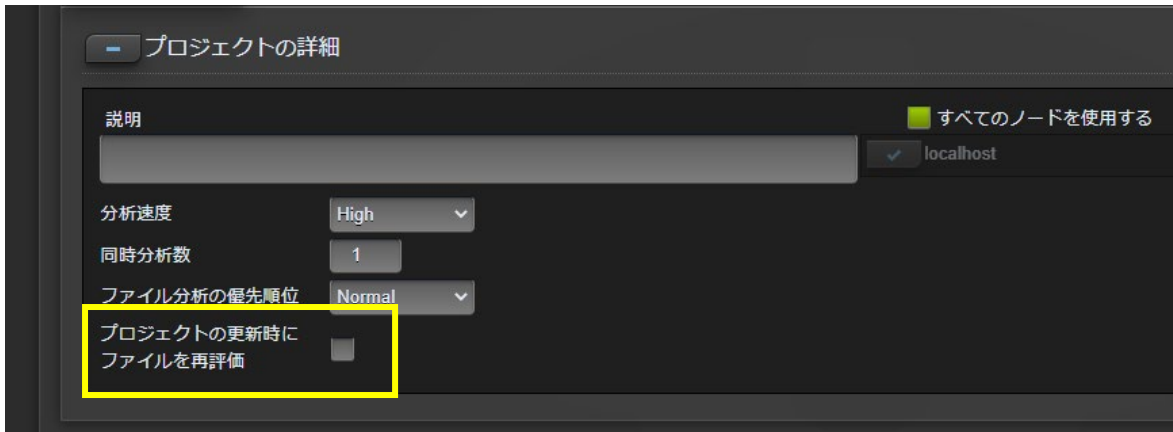


## シングルパス分析の実行を選択できるように

この機能は、プロジェクト設定を変更したい一方で、すべてのファイルのすべてのしきい値を再評価することを避けたいと考えるユーザーの要望によるものです。これは特に、分析済みのファイルが大量にある場合に大きな影響がありました。

本バージョンより、デフォルトの設定として、プロジェクト設定が変更されたときのシングルパス分析はオフになっています。シングルパス分析を無効に設定しても、ユーザーは必要に応じて個々のファイルを選択して再評価することが可能です。

閾値を再評価するためのチェックボックスが追加

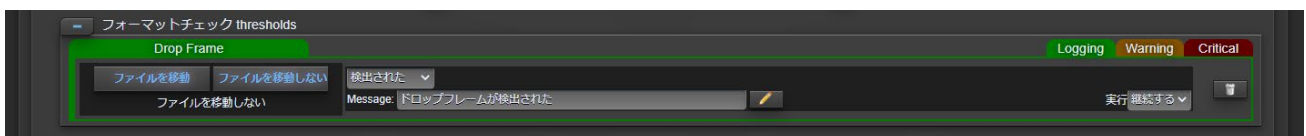


プロジェクト設定の変更後にファイルを再評価するかどうかの選択



## ドロップフレーム/ノンドロップフレームの検出

フォーマットチェックに追加されています。



## バグフィックス

- 「移動された」ステータスのファイルがシングルパス分析後のファイルの再評価を妨げ、ステータスが「ポスト分析」のままになる問題を修正。ファイルが大量にある場合に特に深刻でした。
- 時折レポートのメール送信が失敗する問題を修正
- 一部のイベントの説明に誤ったメッセージが表示される問題を修正
- マクロのイベントがHTMLレポートから削除できない問題を修正
- EBUR128のテンプレートをクイック分析で使用するといくつかの閾値がなくなる問題を修正
- UK DPP HD 4 Tracks v5のテンプレートを更新
- インストーラーの実行時にSentinelサービス（ドングルベースの古いライセンス技術）がインストールされなくなりました。これは、一部のWindows 10システムでクリーンインストールを実行した場合にブルースクリーンとなるエラーを発生させていました。まだSentinelライセンスを使用している古いシステムは、アップデートによる影響を受けません。ドングルライセンスの提供は既に終了しているため、新規のインストールでこのサービスを実行する必要はありません。

---

ビジュアル・グラフィックス株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-1-7 タマビル恵比寿 2 階

TEL: 03-6277-1895 (サポート直通)

E-mail: qscan@vgi.co.jp